

# なわて民報

No.1940  
2016.4.29

[発行]  
日本共産党  
四條畷市委員会  
中野本町4-24  
TEL/FAX  
072-879-5016

四條畷市議会議員  
岸田 あつこ  
清滝29-1 A-201  
TEL/FAX  
072-803-0303

かんばら泰晴  
北出町27-2  
TEL/FAX  
072-865-2551  
072-865-4610

日本共産党四條畷市委員会  
は紙面のような企画をしまし  
たのでお知らせします。

4月14日以降の九州地方を襲った一連の地震は、甚大な被害を及ぼし、多くの方々が亡くなられました。犠牲になられた方々に謹んで哀悼の意を表しますとともに、被災されたすべての方々に心からのお見舞いを申し上げます。

## 党四條畷市委員会が

### 九州地震支援募金活動

2度にわたって震度7の揺れに見舞われ、震度5を超える地震が連日襲ってくるという特異な経過をたどる九州地震は、被災者の方々に想像を絶する心労を与えています。日本共産党四條畷市委員会は、4月18日に忍ヶ丘駅前、19日に四條畷駅前で支援募金活動を行いました。忍ヶ丘では、53,077円、四條畷駅では、26,030円が寄せられたことをご報告しますとともに、募金を寄せられた方々に改めてお礼を申し上げます。

## 一刻も早く

### 救援物資を

募金活動にも参加した重田輝雄氏は、支援物資を現地に届け、一刻も早く募金を生かそうと九州まで、自動車で往復しました。以下、重田氏が寄せてくれた報告を掲載します。

## 募金を物資に変え

### 福岡へ！

重田 輝雄

熊本を中心とした九州大地震が14日と16日に起きました。日本共産党四條畷市委員会では、忍ヶ丘駅と四條畷駅に延べ20数名の方が参加して、震災義援金を訴えましました。みなさんから寄せられた募



物資を届ける重田氏  
(中央3人中左端)

金は79,380円にもなり、その日に義援金は党北河内南地区委員会に届けました。北河内各行政区では同時に取り組まれたお金で、現地で早急に必要としている食料などを購入、21日の木曜日午前2時半に大阪を出發しました。

## 戦争法廃止市民の会も募金活動

毎月9の付く日に、憲法違反の戦争法(安保法制)を廃止し、平和憲法を取戻そうと宣伝・署名活動に取り組んでいる『戦争法廃止四條畷市民の会』が、4月19日、栄通商店街で、九州地震の支援募金活動を行いました。

46,933の募金が寄せられ、全額を、全労連・大阪労連北河内協議会の支援募金口座に振込みました。

## 平和であればこそ

### 救援もできる

戦争中の愛知県・濃尾地震

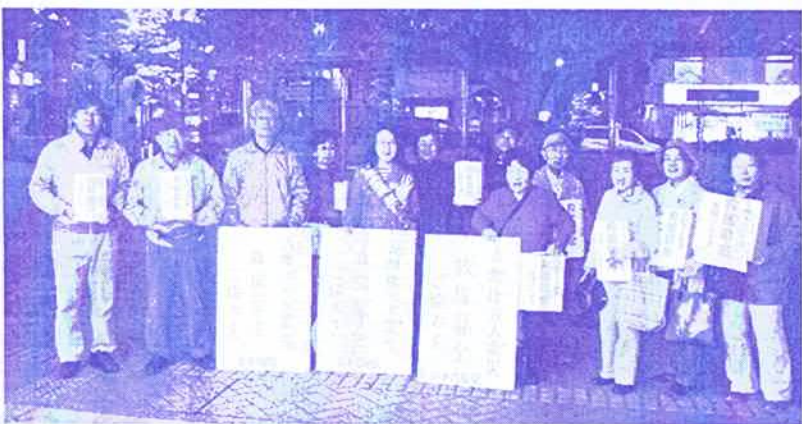
では地震報道が禁止され、救援活動は全くされず、アメリカの占領下での福井地震では救援がアメリカによって制限されたことが語られ、平和で報道の自由がなければ救援もできないことが訴えられました。今回の地震を口実に、憲法に「緊急事態条項」を設け、全権限の内閣への集中と報道規制を図ろうとする安倍内閣の危険な動きがあるとの訴えもされ、戦争法廃止と結びついた募金活動となりました。

運転は東北大地震でもボランティアとしてともに参加した門真の亀井市会議員と四條畷からは私の二人で交代で運転しました。大雨が降る中の運転で、約8時間をかけて日本共産党福岡県委員会に到着。福岡県委員会には全国の共産党から寄せられた大量の荷物の山、勤務員さんや地元ボランティアの人たちが整理に汗を流していました。岡野隆県委員長さんから熊本の状況をお聞きして、熊本では県委員長さんをはじめ勤務員さんたちも被害にあわれており、みなさん自宅で寝ていない状況では、荷物が送られてきても整理できないので、福岡から熊本に毎日午後3時に便を出しているとのことでした。福岡のみなさんの笑顔を見られて、元気をもらいました。

熊本入って被災地の様子をこの目で確認したかったのですが、高速道路は通行止めのため断念せざるを得ませんでした。福岡市内で昼ご飯を食べ、すぐに帰路につきましました。

1250kmをとんぼ返りの強行軍でしたが、大阪には夜9時過ぎに無事に到着。

皆さんからいただいた貴重なお金、無事に届けられてよかったです。ご協力に感謝します。



岸田あつこ議員募金活動に参加(左から5人目)



# 岸田議員の一般質問 学校図書室の改善と 読書活動の充実を



3月議会で岸田あつこ議員は4項目の一般質問を行いました。

1つは、保護者の方から要望があった学校図書室の改善を取り上げました。

## 図書室の

### 開館時間の増を

まず、図書室の開館時間が学校によって違う実態があり、開館時間を増やせないかという要望を聞きました。

小学校で言えば、2時間目と3時間目の間に20分休憩の業間があります。この業間と昼休みの両方開館しているのが7校中4校。教育委員会としてこの違いを検証し、開館の工夫を示していくことを求めました。

教育委員会はまず、『開館時間を増やすことは必要』との立場を示しながら、「専属の職員が必要であり、田原小の取り組みを市全体に広げたい」旨の答弁がありました。

### 市立図書館職員を 学校に派遣 今年度から3校で 実施

田原小の取り組みは昨年度から実施をしているもので、市立図書館の職員を派遣し、学校図書や読書活動の充実を図っているものです。その成果からか、田原小の図書の貸出数はダントツトップ（別表）。

取り組みの拡充を確認すると「2016年度からは東小と南小で実施し、その後さらに拡充していきたい」と回答がありました。

### 学校司書の配置も 求める

岸田議員はさらに、子どもにどんな本を読ませたら情操教育が育むのかなどについて、学年に合わせた本の選択をするなど、専門

的学習を積んでいる学校司書の配置が望ましいとし、司書の配置を求めました。

※概数もあり。  
※田原小は9月～の教  
※忍小はデータベース化準備  
中で把握できていない

田原小	15,435
巖小	4,954
南小	5,200
忍小	
東小	6,770
岡部小	7,290
くすのき小	9,576
巖中	2,545
南中	1,450
西中	1,072
田原中	960

## 巖小の図書館の様子



先生のおすすめの本の紹介や本の病院など工夫されている



### 巖小の図書室の 改善に 前向きな答弁

また、市内いくつかの小中学校では、保護者の方に図書ボランティアを依頼し、図書の整理や子どもが読みたくなる本の配列などに取り組んでいただいています。岸田議員はそのうちの巖小と巖中の図書室を見学（写真）。子どもの読書意欲をそそる様子を紹介し、図書室の改善要望として上がっている巖小の照明が暗いことへの改善を求める、「対応を考えたい」と前向きな答弁がありました。

### 粗大ごみ有料化 新炉稼動に 合わせ有料に

来年7月稼働予定で建設が進められている新ごみ焼却場。地中の岩盤が予想以上に固く工事が難航したため、今の段階では工事が約半年遅れ、稼働時期も遅れる状況ですが、市は『新炉稼動に合わせて粗大ごみを有料化したい』としています。

枚方市の主な粗大ごみの料金

料金	自転車	乳母車	車椅子
300円	ミシン(卓上型)		
600円	電子レンジ	食器乾燥機	コピー機
	扇風機	ランニングマシン	
900円	洗面台	ガス台	
	パチンコ台	スロットマシン	
1,200円	調理台・ガス台にオープンや食器乾燥機がついているもの		
1,800円	マッサージ機		
1,800円	電子オルガン	電子ピアノ	マージャン台

有料化による減量や収入見込みを聞いても「試算できていない」と説明しています。有料化してもどれくらい減るか分からない、収入もわからないのでは、市民の納得は到底得られません。

しかし、一定の大きさ以上のごみや指定した品目のごみは有料にしたい。有料化の基準や額は今後検討するとしながらも、枚方で実施されている例を参考にしたい旨が説明されました（別表参照）。

環境審議会前に個別に受けた説明では、有料化しても1月に1回、5点まで申し込みができ、45リットル袋のごみや一定の大きさ未満のごみは引き続き無料とする。

### 有料化の中身は 枚方を参考に

岸田議員は、粗大・不燃ごみの量は減量化目標を大幅に達成していることを改めて指摘し、有料化については市民の意見をしっかりと聞いて判断することなどを求め、有料化すべきでないという立場で質問しましたが、市は計画通り有料化したい構えです。

今年度はこの有料化の庁内議論がすすみます。みなさんの率直なご意見をお寄せください。

他に、学校統廃合関連や業者の指名停止の問題も取り上げました。